

盛岡市在住外国人の生活と意識に関する調査報告書

—多文化共生社会の推進に向けて— 【概要・ルビ付き日本語版】

盛岡市内に住んでいる外国人は新型コロナウイルスが広がる前まで増えていました。コロナの後、もっと増えると思います。外国人が増えたので、盛岡市では、もっと対応する必要があると思っています。そこで、盛岡市に住んでいる外国人にアンケート調査を行いました。

1. 調査について

(1) 調査方法

- \*対象：盛岡市に住んでいる18歳以上の外国人 1、458人
- \*調査期間：令和3年8月6日～8月25日
- \*依頼方法：アンケート調査をお願いする文書・調査票・返信用封筒を郵送
- \*回答方法：①郵便 または ②Google フォーム
- \*言語：日本語（ルビ付き日本語）・英語・中国語・ベトナム語・ミャンマー語

(2) 回答数および回収率（回収した割合）

回答数	郵送	292（内無効0）	
	Web（Google フォーム）	278（内無効2）	
	合計	570（内無効2）	回収率：38.96%（有効回答数568）

2. 主な調査内容・分析・提案（ここから「市」とは「盛岡市」のことです）

問1：回答者について

問1では、回答者の国籍等を聞きました。

【分析】このアンケートは、特定の年代や在留資格、国籍に偏ったものではありません。

問2：「あなたが日本語でできること」について

問2では、日本語でできることについて聞きました。

【分析】約半分の人が、日本語で書類に書くことや病院で説明することを、難しいと感じています。生活に必要な手続きや健康に関わることのサポートが必要です。

【提案】市役所の手続きの書類の多言語化など「外国人に対するサポートの強化」に取り組むことです。

具体的には、外国人や盛岡国際交流協会のボランティア、市役所と一緒に、ワークショップをします。さらに、病院でのサポートも、考える必要があります。

### 問3：「地域とのかかわり」について

問3では、地域について、どのように思うかを聞きました。

【分析】外国人の中には、地域にある「町内会や自治会」を知らない人がいます。「地域の人と交流したい」という人がいます。しかし、地域の人と交流することが不安だという人もいます。

【提案】地域にある町内会・自治会への調査でも「外国人と交流したい」という回答は多かったです。外国人も日本人も、交流したいとおもっているようです。そこで、交流する機会を創ることを提案します。交流の機会を多く創ることで、普段から、よいコミュニケーションを築くことができます。

### 問4：「今の生活・情報の集め方や困っていること」について

問4では、外国人の情報の集め方や困りごと等を聞きました。

【分析】市や盛岡国際交流協会が外国人を支援していることや情報を発信していることを知らない人がたくさんいます。それにより、国や市から支援が届かないことが心配です。

また、日本語の勉強や医療に関することなどで困っている人が多いです。市からの情報の発信は、言語の数が増えることや、やさしい日本語の発信が増えることを希望する人が多いです。

【提案】外国人へ情報を届ける仕方を整えることを、すぐに取り組むものとして提案します。それは、生活で必要だからです。災害などがおきたときにも必要です。

具体的には、令和4年度に市が始める市公式LINEサービスを使ってやさしい日本語や多言語で情報を発信します。

これにより、市や盛岡国際交流協会が外国人を支援していることを多くの人に知ってもらうことができます。困ったときに市に相談することができます。市は、相談があれば、外国人が困っていることがわかります。困っていることを早く解決することができます。

### おわりに

調査は、これからも続けたほうがよいものです。今は状況が早く大きく変わる時代だからです。国籍や言葉の違いにかかわらず、地域に住むみんなの声を、お互いに知ることが、みんなが住みやすい社会につながると思います。